

なすび

第32号

目次

1p~2p 1年目の決意
2p~3p 行事報告
3p~4p 部活動報告
4p 番外編
今後の予定
編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢900
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp

発行日 令和元年10月30日

今年度初めて那須学園へやってきた先生方も半年が過ぎました。どんな感想を抱かれたのでしょうか。「一年目の決意」をいただきました。

○益子 浩（那須学園園長）

着任から半年が経過して

学園田では四月に種籾を蒔き五月に植えた早苗が成長したわわに実り稲刈りを待っています。棚掛けして天日乾燥させ脱穀保存します。新米が子どもたちの食卓に上るのはもう少し先になります。音楽室では今日も吹奏楽部の楽器の音が鳴り響いています。野球や水泳の季節が終わります。現在はバレーボール、卓球、陸上と吹奏楽に取り組んでいます。入所前はどうかと心配した子どもも安定した集団生活という環境の中で徐々に落ち着いた生活を取り戻しています。そして、さまざまな体験や達成感を得る取り組みにより自己肯定感や信頼関係の構築が行われています。

こう書くとは順風満帆にいつているように思いかも知れませんが三百六十五日問題の起こらない日がないのが那須学園で、職員はWithの精神で試行錯誤しながら粘り強く取り

組んでいます。

現在、中学三年生が九名入所しており大きな決断の時期を迎えています。子どもたちにとって中学卒業はほとんどの場合退所を伴い、進学先や就職先の決定だけでなく生活の場も変わります。年度後半はそれぞれが目標としている進路実現のために関係機関等と緊密に連携しながら職員一丸となり支援していく覚悟です。

子どもたちは自立目標に向かって日々「朝は希望に起き、昼は努力に生き、夜は感謝に眠る」生活を実践しています。

○池田 峰一（男子一寮）

邂逅と僥倖。大学恩師の言葉です。

今も私を突き動かす源になっている大切な言葉です。児童生徒の中にもつまでも印象付けられて、どんな場面でもその原動力となり、自分自身を形として現すことの出来る源泉になるように願っています。生徒指導や学習指導のアプローチの方法や手段は、一般的な小中学校とはだいぶ違うかもしれません。「チーム那須学園」一丸となり、情意信条一致し、専門生に優れた教職員と共に、児童

生徒の成長を願い、人格の完成を目指し、協調性と情操の涵養を豊かに育むこと、認知（メタ認知）と自己修正能力が図れる人間を育むことに重点を置き、接していきたいと思っています。児童生徒の気づきに着目し続けて、自覚できる成長を実感出来るような指導を心がけていきたいです。

○竹原 有香（女子寮）

あつという間に半年が経ちました。年度初めのバレーで子どもたちに負けまいとダッシュして脚を痛め、夏の水泳では一緒にプールに入るも水泳が苦手な私は十分に教えることができません。子どもたちとの日常では、トラブル続きの毎日で各々の課題に對してどのように支援するべきか悩んでおり、自分の不甲斐なさを感じている日々です。

女子寮では九月に初めてバレーの練習試合を行いました。子どもたちは緊張しながらも大きな声を振り絞って望みましたが、結果は惨敗。みんな落胆していましたが、諦めない気持ちや励まし合う力が育ってくればと思っています。

今後行事や受験等が控えています。

すが、日々の生活を大切にし、子どもと苦楽を共にしながら生きることの楽しさや大変さ等を伝えていければと思います。

○高瀬 悠加（女子寮）

那須学園の職員になって四ヶ月が経過しました。私の一年目の決意は、自分に出来ることを増やそうとする努力を絶やさないことです。人間（子供）相手に、日々支援について考えたりぶつかったり、正直想像していたよりも大変な仕事だと感じています。しかし、この環境で自分に何が出来るか考えることをやめず、それを実行し続けることは、私自身の小さな成長に繋がるのではないかと考えました。色々な問題を抱えた子供達が在園する中で、その子に何が必要か、どんな支援がその子のためになるか、自分が学んできた心理学の知識を生かし、考えていきたいと思っています。社会人一年目でまだわからないことが多く、ご迷惑をおかけしてしまふことも多々あるかと思いますが、今後も精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

○芳賀 毅（沢分校）

分校に勤務し、早半年が過ぎようとしている。児童生徒指導に学習指導、他の校務分掌等慣れることに一杯だった当初と比べると多少の見通しをもって分校生活に従事できるようになってきたと感じている。そ

のような中、児童生徒達との日々の生活において心がけていることは「顔晴る」ということである。教師自身の表情一つで、児童生徒たちは如何様にも変化してしまうことがある。何かに当たったとき、晴れやかな顔で互いに送り出し、出されるような関係性を築いていきたいと思っている。また、学園の先生方との連携を図る上でも必要な要因の一つである。

心に留める言葉の一つに「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。」がある。さらに自分の足下、全体を視る力をさらに養っていきけるよう精進していきたい。

☆行事報告☆

☆流しそうめん会

七月一六日

七月一六日(火) 那須学園恒例の流しそうめんが行われました。学園の敷地内で採れた竹を使つての本格的な流しそうめんです。流れてくるそうめんが上手く取れずに戸惑っていた子供達も、箸の使い方や気付けで慣れてくると上手に取れるようになっていきました。付け合わせの天麩羅はエビ、茄子、かき揚げ。こちらも大好評。ランチルーム職員の御協力の下、今年の流しそうめんも大成功でした。本当にありがとうございました。



☆海浜宿泊学習

七月一八〜十九日

七月十八日から十九日にかけて、海浜宿泊学習が行われました。不安定な天候の中ではありませんでしたが、全行程を予定通り実施することが出来ました。一日目は宿泊場所のとちぎ海浜自然の家で、海浜スコアオリエンテーリングを行い、自然の中で仲間と協力しながら活動することが出来ました。また、花火やバイキング形式の食事など、普段出来ない活動に児童達も満足した様子でした。二日目は大洗水族館の見学と海での遊泳を行いました。決められたルールを守り、お互いが楽しく過ごせるように意識して行動する姿が見られました。二日間の活動を通して、公共の場での過ごし方や集団行動をする

上での時間や決まりを守ることの大切さ、自然とふれあう楽しさを学ぶことが出来ました。



☆生き物調査

九月六日

当園は田んぼに囲まれており、園内には用水路が流れています。その用水路の水は近くに流れる箒川と繋がっており、たくさん生き物がいます。そして、当園では毎年2回、その用水路にどのような生き物が生息しているか、調査をしています。生徒らは休日になると魚釣りをして過ごすことがあります。ですが、この調査では水門近くには笠(うけ)を仕掛け、下流では網や手づかみで生き物を捕まえました。服を濡らしながら取り組んでいる生徒や量より

も大きさを競い合っている生徒もあり、捕まえた魚を保全会の方々に嬉しそうに見せていました。

鮎、カジカなどの珍しい魚もおり、水路のきれいに驚かされました。これからもきれいな学園を維持していきたいと思えます。

☆学園祭

九月二十日

去る九月二十日、那須学園の伝統行事でもある学園祭が行われました。天候が心配されましたが、学園職員の日頃の行いが良かったせいか、素晴らしい秋晴れのもとで開催することができました。今年は児童の主体性や自主性を育むために、出店するどの模擬店(ラーメン・たこ焼き・パンケーキ・かき氷・ドリンク)で仕事をしたいかを聞き、模擬店ではどんな仕事をしたのかを児童間で話し合わせたりしました。また模擬店の飾り付けを工夫させたり、会場の客席の配置を児童に考えさせたりして、思考をめぐらせる準備であったと思います。金木犀の香りが心地よく漂うなかで準備をし、やがて模擬店で調理するおいしそうな匂いに会場が包まれ子供達の鼻をうずかせました。慣れない調理や接客では四苦八苦しながらも徐々に良い感じをつかみ、後半になると楽しみながら出来るようになっていました。お待ちかねの各模擬店を巡つての食事は、会場の雰囲気も相まって格別の味と

なり、子供達の五感を刺激する学園祭であったと思います。そして何よりも招待者様（地域住民、原籍校、児相、関係機関等）とのふれ合いは子供達の第六感をくすぐるものであったと思います。関係機関の皆様、お忙しいところ御協力ありがとうございました。



☆部活動報告☆

☆水泳部

八月二四日、川口市立東スポーツセンターにて開催された関東少年水泳大会に男女水泳部全員で参加しました。六月にプール開きをしてから女子水泳部が発足、野球大会後にはすぐに男子水泳部も活動を始めました。水泳部が始まった当初は弱音

の連続で、監督自身も心配しない日はありませんでした。力はあるのにすぐに気持ちで負けそうになってしまふ子供達でしたが、ほぼ毎日プールに入って頑張りました。徐々に泳げるようになり、飛び込み、クイックターンの練習も始まり、少しずつ積極性も出始めました。大会では、男子総合六位、女子五位。本番はとも緊張していましたが、しっかりと泳ぎ切った子供達の笑顔は輝いていました。個人種目では数名が表彰台を経験するという見事な結果を残すことができました。たくさんの方々の協力や応援をもらって、最後まで泳ぎ切ることができた子供達は、最高の笑顔を見せてくれました。



☆バレーボール部

十月十一日に東京都青梅市にて行われた、第十九回関東バレーボール大会に参加してきました。

女子寮児童全員で練習から大会まで頑張りました。今年度はバレーの経験者がおらず、皆初心者で基本的なパスやサーブ練習からのスタートではじめはボールの扱いも不安定で、コートの中で右往左往するような毎日でした。そんな初心者のメンバーでも、「元気良く声を出そう」「マイナス発言なしで前向きに頑張ろう」という目標でやってきました。

いつも部活の時間になると、体育館からは大きなかけ声が響き渡っていました。二回の練習試合も経験し、実力の差を思い知り、落ち込むこともありましたが、あきらめずに練習しました。大会では、一勝三敗四位という結果でした。他のチームはとも強く、悔しい内容の試合もありましたが、練習試合で勝てなかったチームに勝てたり、苦手のサーブが入ったり、相手のアタックや強いサーブをレシーブしたり、ミラクルプレーが出たりと、それぞれが緊張の中で、全力でプレーできました。また、ピンチの時にもお互いに声を掛け合い、励まし合い、笑顔忘れずに戦おうとする姿にも、成長を感じられる大会となりました。

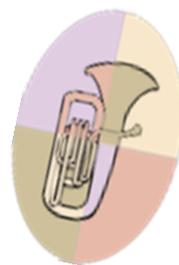


☆吹奏楽部

初心者軍団として六月にスタートした吹奏楽部は、夏休みの猛練習(?)を経て、少しずつ吹奏楽らしい音を奏でられるようになりました。既に職員よりも上手くなった子供もいて、子供達の成長の速さを感じさせられます。同時に、子供達と一緒に真夏の暑い中、時に教え、時に教えられながら猛練習に励んだ職員の努力が、楽器の音色を一番下で支えているように感じます。

現在は、一二月の関東少年文化祭で発表する予定の曲を練習中です。吹奏楽部の練習日はそう多くはないので、発表までに間に合うかどうか、というところですが、皆で心一つに精一杯練習して本番に臨もうと思っています。関東少年文化祭以降も、何

度か発表の機会はありませんので、見に来てくださる皆様の心に届く演奏ができるよう、地道に練習して参ります。



☆陸上部

男子陸上部がメンバー5名でスタートしました。今年は、人間関係の取り方が上手ではない生徒が多い為「みんなで・・・やろう」を目標にして取り組んでいます。たとえば、アップ中に生徒や職員とハイタッチをし、みんなで練習をするのだと気持ちの注入をしています。マラソンは一人で走るスポーツではあるが、練習やタイムを上げるには集団の力が必要なのだということが生徒らに伝わってくればと思います。まずは、11月の矢板たかはらマラソンを目標に励んでいます。

☆卓球部

今年も九月から卓球部の活動が始まりました。今年も卓球経験者が一人、去年の卓球部経験者二人を含む六人でのスタートでした。例年より小粒な子が多いため、正直なところ「今年は難しいかな」と思っていたのですが、前向きに練習に取り組んでいるうちに「おっ、これはもしか

したらいけるかも！」と思えるくらいまで上達してきました。十二月の大会まであと少し。卓球部一同、頑張って三位以上への入賞を目指したいと思います。

☆番外編☆

今年も台風の影響で全国的に大きな被害が出ていますが、那須学園も園内の農業用水路が氾濫し、寮も床上浸水の危機にさらされました。せつかく実った稲も倒れてしまい、機械での刈り入れが難しいため職員児童協力して手刈りで収穫に励んでいます。さらに一手間かかった今年的那須学米、きつと感慨深い味になると思います。

今後の予定

- 十一月 十日 陸上部 たかはらマラソン
- 十一月 十四〜十五日 小六修学旅行
- 十一月 十六日 陸上部 矢板駅伝大会
- 十一月 二二日 収穫感謝祭
- 十一月 二八日 関東少年文化祭

十二月 十三日 関東少年卓球大会

十二月 九日 しおや湧水の里マラソン大会

十二月 二十二日 クリスマス会

一月 八日 新年昼食会
席書大会

一月 十日 第一回 スキー教室

一月 十七日 第二回 スキー教室

一月 二十五日 ふれあいコンサート

二月 一〜二日 県児童福祉施設文化祭

二月 四日 立志式

二月 七日 園内マラソン大会



編集後記

夏の暑さから一変、秋は台風や雨に悩まされることになりました。気候の変化に負けず、子供達は運動に吹奏楽、稲刈りなど様々な作業に取り組んでいます。年度末に向けての行事も目白押し。子供達に負けないよう、大人も意地で頑張っています。少しずつ成長している子供達の姿をこれからも温かい目で見守って頂けると嬉しいです。

天候変化に悩まされる日が続きますが、皆様もお身体を大事にしてお過ごし下さい。

育成課

石口・中島・竹原